

㊦キドキいっぱい㊦ラエティーに富んだ㊦イスラム教の国 ド・バ・イ

日本が梅雨入りとなったころ、ドバイの気温も上昇し、6月下旬を迎えた最近では、連日40度を超える日が続いています。また湿度も高くなってきて、蒸し暑かった昨年の夏を思い出します。

ドバイ日本人学校(DJS)での勤務2年目を迎えました。今年度も5年生の担任をすることになりました。昨年度は4年生の社会科を担当していたため、クラスの雰囲気もよくわかって4月を迎えました。しかし、子ども達は、高学年としてがんばろうという気持ちが強く、4年生のときよりも成長しているなあと感じたのを覚えています。そして今、4ヶ月ほど経ちましたが、日々の学習はもちろん、委員会活動やいろいろな行事などで積極的に取り組む姿を見て、高学年としての自覚が育っていることを実感しています。今後もこのような気持ちが継続していけるよう、こまめに指導していきたいと思います。

さて、本校では6月14日(金)に3大行事の1つである音楽発表会が行われました。今回の『ドバイ通信.No,3』では、その様子をお伝えしたいと思います。

音楽発表会大成功!!

『響け!ドバイから世界へ〜暑さに負けない僕らの情熱〜』をテーマに行われた音楽発表会。練習の成果を十分に発揮したすばらしい発表会となりました。



低学年の合奏では「きらきらぼし」を短調やタンギングを使うなど、いろいろな方法で演奏をしました。歌も低学年らしく元気に大きな声で歌いました。



ダンスを取り入れて歌った中学年。会場全体で手拍子をして、楽しく歌いました。



『歌で想いを届けよう』とがんばった高学年。「花は咲く」の合唱では、会場全体で歌い、ドバイから日本に気持ちが届いたと思います。



音楽発表会最後は、全校児童生徒による「ふるさと」の合唱。はじめはアラビア語の歌詞で歌いました。歌を聴きながら遠い日本のふるさとを思い出したのは私だけではないと思います。



さすが中学生。3部合唱の美しいハーモニーはさすがです。